

2021年12月28日

各位



小水力発電事業向けプロジェクトファイナンス案件の組成について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）は、阿多野郷・野麦小水力発電株式会社（以下「同社」といいます。）が手掛ける小水力発電事業（以下「本事業」といいます。）向けプロジェクトファイナンスに対し、アレンジャーとして協調融資（シンジケート・ローン）を組成いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

本事業では、同社が岐阜県高山市高根町阿多野郷および野麦に小水力発電所を建設し、再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づき、向こう20年間にわたって中部電力パワーグリッド株式会社に売電いたします。

今回のプロジェクトファイナンスは、高山市内に営業拠点を置く金融機関4行庫によりシンジケート団を組成しています。

当行は、ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループとして、今後も「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」に基づき、お客さまの要望に多様なサービスでお応えし、地域の持続可能な成長と発展に貢献してまいります。

記

1. 同社の概要

商号	阿多野郷・野麦小水力発電株式会社
所在地	岐阜県高山市西町71番地
代表者	代表取締役 井上 博成

2. 本事業の概要

目的	小水力発電（※詳細後述）
事業地	①岐阜県高山市高根町阿多野郷 ②岐阜県高山市高根町野麦
発電規模	合計895kw（①699.4kw ②195.6kw）
売電開始時期	2023年12月末（予定）

3. プロジェクトファイナンスの概要

組成金額	12億2,000万円
アレンジャー	当行
エージェント	当行
参加金融機関	当行、高山信用金庫、株式会社大垣共立銀行、株式会社北陸銀行
契約締結日	2021年12月28日

※小水力発電とは

大規模なダム等を利用する水力発電と異なり、河川に設置した取水口から水を高低差のあるパイプに流し、その勢いで水車を回すことにより発電する方法です。

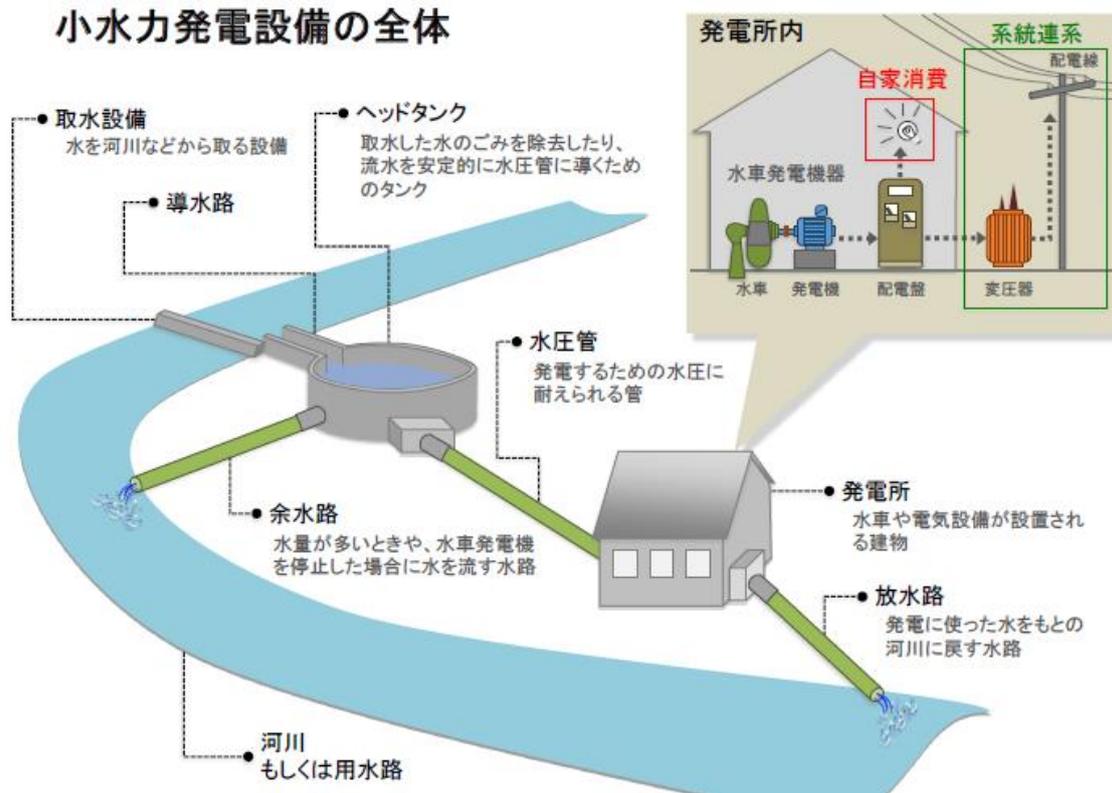
小水力発電は、太陽光発電との比較において、立地条件に制限があり、発電容量も小規模ですが、

- 天気や昼夜を問わず安定して発電できる
- システムの寿命がおおよそ50年と長い
- 大規模な開発を必要としないため、自然への影響が小さく、発電にあたってCO₂の排出がないなど、気候変動対策や環境保全にも資する

といった複数のメリットが認められ、持続可能な循環型の電源（電気をつくる方法）として、導入が広がっています。

～ご参考～

小水力発電設備の全体



【阿多野郷・野麦小水力発電株式会社より資料提供】

以上